

■ 子供のやる気を大切に

教育で一番大切だと思ふ事は、子供にやる気を起させる事です。それには、子供が望ましい事をやってゐるのを見たら、大袈裟に喜んでみせる事が大切です。「かういふ事をする、お母さんはこんなに喜んでくれるのだ」と思ひますから、一層張切ってやるやうになるものです。

だから、子供が良い事をした時には、必ず讃めてやる事が大切です。讃められてやる気を出さない子供など絶対にありません。それには、子供の行為には絶えず目を配ってゐる必要があります。

“叱る”ことは、道徳的にいけない事をした時、時に他人に迷惑を及ぼすやうな行為をした時に限って頂きたいと思ひます。この時は決して黙認することなく、叱らなければいけません。もっとも、その前に、道徳的な規範を教へて置かなければなりません。教へないでゐて、いきなり叱るといふ事はいけません。

子供が失敗すると、それを咎めるお母さんがよくゐます。これも子供のやる気を削ぎます。子供は失敗を重ねて初めて成長できるのです。失敗を咎められたら、「君子危きに近寄らず」で、万事に消極的な子供になってしまう虞れがあります。